

都市再生整備計画 事後評価シート

いわま えきしゅうへん ち く
岩間駅周辺地区

令和2年2月
茨城県笠間市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	笠間市	地区名	岩間駅周辺地区		面積	137.5ha
交付期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	692百万円	国費率	0.4	

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	多目的広場 第1ポケットパーク 第2ポケットパーク 観光誘導案内板 県道水戸岩間線歩道空間 岩間地区交流センター						
		提案事業	事業効果分析調査						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		提案事業	-			-		-	
	新たに追加した事業	基幹事業	-			-		-	
		提案事業	-			-		-	
交付期間の変更	当初	平成27年度～平成31年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
	変更								

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	モニタリング	評価値				
	愛宕山ハイキング施設利用者数		人	13,000	H26	14,500	H31	-	17,000	○	あり ●	年度前半において、前年度までの実績を上回っているため、達成見込みがあると考えられる。	平成32年7月1日
	駅西(県道岩間停車場線)歩行者数		人	669	H26	740	H31	-	997	○	あり なし	笠間市地域交流センターいわま「あたご」利用者等の増加が要因になっていると考えられる。	-
	良好な市街地が形成されてきていると感じている市民の割合		%	28.40	H25	35.00	H31	-	27.40	△	あり なし	評価対象年度の調査では、目標値に達していないものの、調査年度によっては目標値に達している結果もあることから、評価方法について、別途検討する必要がある。	-

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	その他の数値指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	モニタリング	評価値				
	笠間市地域交流センターいわま「あたご」の利用者数		人	39,610	H30	-	-	-	46,000	○	あり	笠間地域交流センターいわま「あたご」の運営の工夫により、講座等の充実が図られ、市民の活動の場として活用されている。	平成32年7月1日
	良好な市街地が形成されてきていると感じている市民の割合(3年間平均)		%	28.40	H25	-	-	-	32.31	△	-	笠間地域交流センターいわま「あたご」や県道水戸岩間線の整備により、従前値の改善がみられている。	-

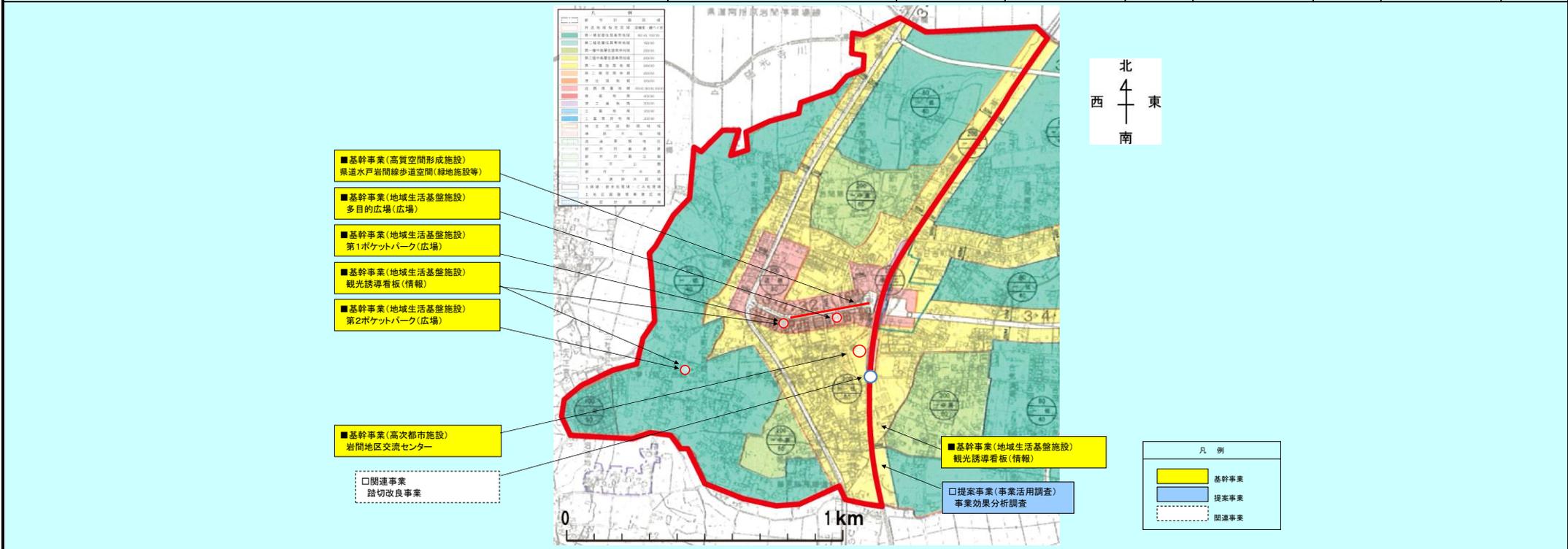
4)定性的な効果発現状況	笠間市地域交流センターいわま「あたご」が整備されたことにより、駅を利用する高校生の待合の場にもなっており、駅周辺での若年層の滞留や安全な通学環境の確保にもつながっている。
--------------	---

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	住民参加プロセス	実施状況	今後の対応方針等	実施状況	今後の対応方針等
			都市再生整備計画に記載し、実施できた	-		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-		
	個別事業に関する説明会等の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた	-		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	笠間市地域交流センターいわま「あたご」については、今後も地域活動の拠点となることから、引き続き地域の関係者との関係性を維持し、適宜協議を行う必要がある。	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-		
	笠間市地域交流センターいわま「あたご」の活動案内の配布		都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	本施設のような施設の運営については、ソフト面の充実とともに、情報発信や活動の周知が不可欠であることから、運営者と連携しながら、継続的に取り組みを実施する。	
	笠間市地域交流センターいわま「あたご」の運営事業者との連携		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	定期的な運営協議会を開催し、運営状況の報告を行うとともに、施設の改善等について協議を行っており、施設運営の充実を図るため、今後も継続して実施することとする。	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-		

様式2-2 地区の概要

岩間駅周辺地区整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標名	単位	数値	年次	数値	年次	数値	年次
大目標)岩間駅前周辺と地域コミュニティ及び観光拠点施設整備による賑わいの再生 目標1)拠点施設整備による来街者、地域住民間の交流の促進と活動の活性化 目標2)歩行空間の整備による観光資源及び駅周辺の魅力・回遊性の向上	愛宕山ハイキング施設利用者数	人	13,000	H26	14,500	H31	17,000	R1
	駅西(県道岩間停車場線)歩行者数	人	669	H26	740	H31	997	R1
	良好な市街地が形成されてきていると感じている市民の割合	%	28.40	H25	35.00	H31	27.40	R1



まちの課題の変化 笠間市地域交流センターいわま「あたご」は、愛宕山へのハイキング客の利用も想定されているが、現時点では、利用者が少ないことから、ハイカー向けの情報発信やイベントの開催等に取り組む必要がある。岩間駅から愛宕山への観光動線が明確になったことにより、既存の愛宕山から福原駅までのルートと一体となった広域ルートが形成されたことから、これらを活用した観光交流を促進する必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) 笠間市地域交流センターいわま「あたご」と周辺商店等との連携方策について検討する。ハイキングの拠点として、休憩やシャワー施設の利用について情報発信を行う。